

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数 : 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙 : 七]
K 創世記	2:2 第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なさった。	
K 創世記	2:3 この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。	
K 創世記	4:15 主はカインに言われた。「いや、それゆえカインを殺す者は、だれであれ七倍の復讐を受けるであろう。」主はカインに出会う者がだれも彼を撃つことのないように、カインにしるしを付けられた。	
K 創世記	4:24 カインのための復讐が七倍なら／レメクのためには七十七倍。」	
K 創世記	5:7 セトは、エノシュが生まれた後八百七年生きて、息子や娘をもうけた。	
K 創世記	5:12 ケナンは七十歳になったとき、マハラルエルをもうけた。	
K 創世記	5:25 メトシェラは百八十七歳になったとき、レメクをもうけた。	
K 創世記	5:26 メトシェラは、レメクが生まれた後七百八十二年生きて、息子や娘をもうけた。	
K 創世記	5:31 レメクは七百七十七年生き、そして死んだ。	
K 創世記	7:2 あなたは清い動物をすべて七つがいつ取り、また、清くない動物をすべて一つがいつ取りなさい。	
K 創世記	7:3 空の鳥も七つがいつ取りなさい。全地の面に子孫が生き続けるように。	
K 創世記	7:4 七日の後、わたしは四十日四十夜地上に雨を降らせ、わたしが造ったすべての生き物を地の面からぬぐい去ることにした。」	
K 創世記	7:10 七日が過ぎて、洪水が地上に起こった。	
K 創世記	7:11 ノアの生涯の第六百年、第二の月の十七日、この日、大いなる深淵の源がことごとく裂け、天の窓が開かれた。	
K 創世記	8:4 第七の月の十七日に箱舟はアララト山の上に止まった。	
K 創世記	8:10 更に七日待って、彼は再び鳩を箱舟から放した。	
K 創世記	8:12 彼は更に七日待って、鳩を放した。鳩はもはやノアのもとに帰って来なかった。	
K 創世記	8:14 第二の月の二十七日になると、地はすっかり乾いた。	
K 創世記	11:21 レウは、セルグが生まれた後二百七年生きて、息子や娘をもうけた。	
K 創世記	11:26 テラが七十歳になったとき、アブラム、ナホル、ハランが生まれた。	
K 創世記	12:4 アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。アブラムは、ハランを出発したとき七十五歳であった。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数 : 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙 : 七]
K	創世記	21:28 アブラハムは更に、羊の群れの中から七匹(シェバ)の雌の小羊を別にしたので、	
K	創世記	21:29 アビメレクがアブラハムに尋ねた。「この七匹の雌の小羊を別にしたのは、何のためですか。」	
K	創世記	21:30 アブラハムは答えた。「わたしの手からこの七匹の雌の小羊を受け取って、わたしがこの井戸(ベエル)を掘ったことの証拠としてください。」	
K	創世記	23:1 サラの生涯は百二十七年であった。これがサラの生きた年数である。	
K	創世記	25:7 アブラハムの生涯は百七十五年であった。	
K	創世記	25:17 イシュマエルの生涯は百三十七年であった。彼は息を引き取り、死んで先祖の列に加えられた。	
K	創世記	29:18 ヤコブはラケルを愛していたので、「下の娘のラケルをくださるなら、わたしは七年間あなたの所で働きます」と言った。	
K	創世記	29:20 ヤコブはラケルのために七年間働いたが、彼女を愛していたので、それはほんの数日のように思われた。	
K	創世記	29:27 とにかく、この一週間の婚礼の祝いを済ませなさい。そうすれば、妹の方もお前に嫁がせよう。だがもう七年間、うちで働いてもらわねばならない。」	
K	創世記	29:30 こうして、ヤコブはラケルをめとった。ヤコブはレアよりもラケルを愛した。そして、更にもう七年ラバンのもとで働いた。	
K	創世記	31:23 ラバンは一族を率いて、七日の道のりを追いかけて行き、ギレアドの山地でヤコブに追いついたが、	
K	創世記	33:3 ヤコブはそれから、先頭に進み出て、兄のもとに着くまでに七度地にひれ伏した。	
K	創世記	37:2 ヤコブの家族の由来は次のとおりである。ヨセフは十七歳のとき、兄たちと羊の群れを飼っていた。まだ若く、父の側女ビルハやジルパの子供たちと一緒にいた。ヨセフは兄たちのことを父に告げ口した。	
K	創世記	41:2 突然、つややかな、よく肥えた七頭の雌牛が川から上がって来て、葦辺で草を食べ始めた。	
K	創世記	41:3 すると、その後から、今度は醜い、やせ細った七頭の雌牛が川から上がって来て、岸辺にいる雌牛のそばに立った。	
K	創世記	41:4 そして、醜い、やせ細った雌牛が、つややかな、よく肥えた七頭の雌牛を食い尽くした。ファラオは、そこで目が覚めた。	
K	創世記	41:5 ファラオがまた眠ると、再び夢を見た。今度は、太って、よく実った七つの穂が、一本の茎から出てきた。	
K	創世記	41:6 すると、その後から、実が入っていない、東風で干からびた七つの穂が生えてきて、	
K	創世記	41:7 実の入っていない穂が、太って、実の入った七つの穂をのみ込んでしまった。ファラオは、そこで目が覚めた。それは夢であった。	
K	創世記	41:18 突然、よく肥えて、つややかな七頭の雌牛が川から上がって来て、葦辺で草を食べ始めた。	
K	創世記	41:19 すると、その後から、今度は貧弱で、とても醜い、やせた七頭の雌牛が上がって来た。あれほどひどいのは、エジプトでは見たことがない。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数 : 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙 : 七]
K 創世記	41:20	そして、そのやせた、醜い雌牛が、初めによく肥えた七頭の雌牛を食い尽くしてしまった。
K 創世記	41:22	それからまた、夢の中でわたしは見たのだが、今度は、とてもよく実の入った七つの穂が一本の茎から出てきた。
K 創世記	41:23	すると、その後から、やせ細り、実が入っておらず、東風で干からびた七つの穂が生えてきた。
K 創世記	41:24	そして、実の入っていないその穂が、よく実った七つの穂をのみ込んでしまった。わたしは魔術師たちに話したが、その意味を告げうる者は一人もいなかった。」
K 創世記	41:26	七頭がよく育った雌牛は七年のことです。七つのよく実った穂も七年のことです。どちらの夢も同じ意味でございます。
K 創世記	41:27	その後から上がって来た七頭のやせた、醜い雌牛も七年のことです。また、やせて、東風で干からびた七つの穂も同じで、これらは七年の飢饉のことです。
K 創世記	41:29	今から七年間、エジプトの国全体に大豊作が訪れます。
K 創世記	41:30	しかし、その後七年間、飢饉が続き、エジプトの国に豊作があったことなど、すっかり忘れられてしまうでしょう。飢饉が国を滅ぼしてしまうのです。
K 創世記	41:34	また、国中に監督官をお立てになり、豊作の七年の間、エジプトの国の産物の五分の一を徴収なさいますように。
K 創世記	41:36	そうすれば、その食糧がエジプトの国を襲う七年の飢饉に対する国の備蓄となり、飢饉によって国が減びることはないでしょう。」
K 創世記	41:47	豊作の七年の間、大地は豊かな実りに満ち溢れた。
K 創世記	41:48	ヨセフはその七年の間に、エジプトの国中の食糧をできるかぎり集め、その食糧を町々に蓄えさせた。町の周囲の畑にできた食糧を、その町の中に蓄えさせたのである。
K 創世記	41:53	エジプトの国に七年間の大豊作が終わると、
K 創世記	41:54	ヨセフが言ったとおり、七年の飢饉が始まった。その飢饉はすべての国々を襲ったが、エジプトには、全国どこにでも食物があった。
K 創世記	46:25	これらは、ラバンが娘ラケルに与えたビルハの子らである。ビルハがヤコブとの間に産んだ者の総数は七名である。
K 創世記	46:27	エジプトで生まれたヨセフの息子は二人である。従って、エジプトへ行ったヤコブの家族は総数七十名であった。
K 創世記	47:28	ヤコブは、エジプトの国で十七年生きた。ヤコブの生涯は百四十七年であった。
K 創世記	50:3	そのために四十日を費やした。この処置をするにはそれだけの日数が必要であった。エジプト人は七十日の間喪に服した。
K 創世記	50:10	一行はヨルダン川の東側にあるゴレン・アタドに着き、そこで非常に荘厳な葬儀を行った。父の追悼の儀式は七日間にわたって行われた。
K 出エジプト記	1:5	ヤコブの腰から出た子、孫の数は全部で七十人であった。ヨセフは既にエジプトにいた。
K 出エジプト記	2:16	さて、ミディアン祭司に七人の娘がいた。彼女たちがそこへ来て水をくみ、水ぶねを満たし、父の羊の群れに飲ませようとしたところへ、

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	出エジプト記	6:16 レビの子らの名は家系に従うと次のとおりである。ゲルシオン、ケハト、メラリ。レビの生涯は百三十七年であった。	
K	出エジプト記	6:20 アムラムは叔母ヨケベドを妻に迎えた。彼女の産んだ子がアロンとモーセである。アムラムの生涯は百三十七年であった。	
K	出エジプト記	7:25 主がナイル川を打たれてから七日たつと、	
K	出エジプト記	12:15 七日の間、あなたたちは酵母を入れないパンを食べる。まず、祭りの最初の日に家から酵母を取り除く。この日から第七日までの間に酵母入りのパンを食べた者は、すべてイスラエルから断たれる。	
K	出エジプト記	12:16 最初の日に聖なる集会を開き、第七日にも聖なる集会を開かねばならない。この両日にはいかなる仕事もしてはならない。ただし、それぞれの食事の用意を除く。これだけは行ってもよい。	
K	出エジプト記	12:19 七日の間、家の中に酵母があってはならない。酵母の入ったものを食べる者は、寄留者であれその土地に生まれた者であれ、すべて、イスラエルの共同体から断たれる。	
K	出エジプト記	13:6 七日の間、酵母を入れないパンを食べねばならない。七日目には主のための祭りをする。	
K	出エジプト記	13:7 酵母を入れないパンを七日の間食べる。あなたのもとに酵母入りのパンがあってはならないし、あなたの領土のどこにも酵母があってはならない。	
K	出エジプト記	15:27 彼らがエリムに着くと、そこには十二の泉があり、七十本のなつめやしが茂っていた。その泉のほとりに彼らは宿営した。	
K	出エジプト記	16:26 あなたたちは六日間集めた。七日目は安息日だから野には何もないのであろう。」	
K	出エジプト記	16:27 七日目になって、民のうちの何人かが集めに出て行ったが、何も見つからなかった。	
K	出エジプト記	16:29 よくわきまえなさい、主があなたたちに安息日を与えたことを。そのために、六日目には、主はあなたたちに二日分のパンを与えている。七日目にはそれぞれ自分の所にとどまり、その場所から出てはならない。」	
K	出エジプト記	16:30 民はこうして、七日目に休んだ。	
K	出エジプト記	20:10 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。	
K	出エジプト記	20:11 六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。	
K	出エジプト記	21:2 あなたがヘブライ人である奴隷を買うならば、彼は六年間奴隷として働かねばならないが、七年目には無償で自由の身となることができる。	
K	出エジプト記	22:29 あなたの牛と羊についても同じようにせよ。七日の間、その母と共に置き、八日目にわたしにささげねばならない。	
K	出エジプト記	23:11 しかし、七年目には、それを休ませて、休閑地としなければならない。あなたの民の乏しい者が食べ、残りを野の獣に食べさせるがよい。ぶどう畑、オリーブ畑の場合も同じようにしなければならない。	
K	出エジプト記	23:12 あなたは六日の間、あなたの仕事を行い、七日目には、仕事をやめねばならない。それは、あなたの牛やろばが休み、女奴隷の子や寄留者が元気を回復するためである。	
K	出エジプト記	23:15 あなたは除酵祭を守らねばならない。七日の間、わたしが命じたように、あなたはアビブの月の定められた時に酵母を入れないパンを食べねばならない。あなたはその時エジプトを出たからである。何も持たずにわたしの前に出てはならない。	
K	出エジプト記	24:1 主はモーセに言われた。「あなたは、アロン、ナダブ、アビフ、およびイスラエルの七十人の長老と一緒に主のもとに登りなさい。あなたたちは遠く離れて、ひれ伏さねばならない。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 出エジプト記	24:9 モーセはアロン、ナダブ、アビフおよびイスラエルの七十人の長老と一緒に登って行った。	
K 出エジプト記	24:16 主の栄光がシナイ山の上にとどまり、雲は六日の間、山を覆っていた。七日目に、主は雲の中からモーセに呼びかけられた。	
K 出エジプト記	25:37 次に、七個のとし火皿を作り、それを上に載せて光が前方に届くようにする。	
K 出エジプト記	29:30 アロンの子らのうち、彼の後を継いで祭司となり、臨在の幕屋に入って聖所で仕える者が、その祭服を七日の間、着用する。	
K 出エジプト記	29:35 あなたはわたしが命じたとおり、アロンとその子らのために七日の間任職式を行いなさい。	
K 出エジプト記	29:37 七日の間、祭壇のために罪の贖いの儀式を行って、聖別すれば、祭壇は神聖なものとなる。祭壇に触れるものはすべて、聖なるものとなる。	
K 出エジプト記	31:15 六日の間は仕事をするができるが、七日目は、主の聖なる、最も厳かな安息日である。だれでも安息日に仕事をする者は必ず死刑に処せられる。	
K 出エジプト記	31:17 これは、永遠にわたしとイスラエルの人々との間のしるしである。主は六日の間に天地を創造し、七日目に御業をやめて憩われたからである。	
K 出エジプト記	34:18 あなたは除酵祭を守りなさい。七日の間、アビフの月の定めの日、わたしが命じた酵母を入れないパンを食べなさい。アビフの月に、あなたはエジプトを出たからである。	
K 出エジプト記	34:21 あなたは六日の間働き、七日目には仕事をやめねばならない。耕作の時にも、収穫の時にも、仕事をやめねばならない。	
K 出エジプト記	34:22 あなたは、小麦の収穫の初穂の時に、七週祭を祝いなさい。年の終わりに、取り入れの祭りを祝いなさい。	
K 出エジプト記	35:2 六日の間は仕事をするができるが、第七日はあなたたちにとって聖なる日であり、主の最も厳かな安息日である。その日に仕事をする者はすべて死刑に処せられる。	
K 出エジプト記	37:23 次に、七個のとし火皿、芯切り鋏、火皿を純金で作った。	
K 出エジプト記	38:24 仕事、すなわち聖所のあらゆる仕事に用いられた金の総額は、奉納物の金が聖所のシェケルで二十九キカル七百三十シェケル、	
K 出エジプト記	38:25 共同体に登録された者のささげた銀が聖所のシェケルで百キカル千七百七十五シェケルであり、	
K 出エジプト記	38:28 また、銀千七百七十五シェケルは、柱の鉤を作り、柱頭を覆い、また柱を桁でつなぐために使われた。	
K 出エジプト記	38:29 また、奉納物の青銅は七十キカル二千四百シェケルあり、	
K レビ記	4:6 指を血に浸して、聖なる垂れ幕の前で主の御前に七度血を振りまく。	
K レビ記	4:17 指を血に浸し、垂れ幕の前で主の御前に七度血を振りまく。	
K レビ記	8:11 その油の一部を祭壇に七度振りまき、祭壇とすべての祭具、洗盤およびその台に注ぎかけて聖別した。	
K レビ記	8:33 あなたたちは七日にわたる任職の期間が完了するまでは、臨在の幕屋の入り口を離れてはならない。任職式は七日を要するからである。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K レビ記	8:35 あなたたちは臨在の幕屋の入り口にとどまり、七日の間、昼夜を徹して、主の託せられたことを守り、死ぬことのないようにしなさい。わたしはそのように命じられている。	
K レビ記	12:2 イスラエルの人々に告げてこう言いなさい。妊娠して男児を出産したとき、産婦は月経による汚れの日数と同じ七日間汚れている。	
K レビ記	13:5 七日目に祭司が調べて、患部が以前のままで、広がっていなければ、もう一週間隔離する。	
K レビ記	13:6 七日目に再び調べ、症状が治まっていて、広がっていなければ、祭司はその人に「あなたは清い」と言い渡す。それは発疹にすぎない。その人は衣服を水洗いし、清くなる。	
K レビ記	13:27 七日目に調べる。症状が皮膚に広がっているならば、祭司はその人に「あなたは汚れている」と言い渡す。それは重い皮膚病である。	
K レビ記	13:32 七日目に調べて、白癬が広がっておらず、患部に黄色みを帯びた毛がなく、白癬が皮下組織に深く及んでいるように見えなければ、	
K レビ記	13:34 七日目に調べて、白癬が皮膚に広がっておらず、皮下組織に深く及んでいなければ、祭司はその人に「あなたは清い」と言い渡す。彼は衣服を水洗いし、清くなる。	
K レビ記	13:51 七日目に再び調べた結果、かびがその衣服や織り糸や、あるいは革や革が用いられているすべての製品に広がっているならば、それは悪性のかびであって、汚れている。	
K レビ記	14:7 清めの儀式を受ける者に七度振りかけて清める。その後、この生きている鳥は野に放つ。	
K レビ記	14:8 清めの儀式を受けた者は、衣服を水洗いし、体の毛を全部そって身を洗うと、清くなる。この後、彼は宿営に戻ることができる。しかし、七日間は自分の天幕の外にいないなければならない。	
K レビ記	14:9 彼は七日目に体の毛を全部、すなわち、頭髪、ひげ、まゆ毛、その他の毛もすべてそる。そして、衣服を水洗いし、身を洗う。こうして、彼は清くなる。	
K レビ記	14:16 そこに右手の指を浸してその油を七度主の御前に振りまく。	
K レビ記	14:27 そこに右手の指を浸してその油を七度主の御前に振りまく。	
K レビ記	14:39 七日目に、祭司は再び来て見る。かびが家屋の壁に広がっているならば、	
K レビ記	14:51 次に、杉の枝、ヒソブ、緋糸と共にもう一羽の生きている鳥を取って、さきに殺した鳥の血と新鮮な水に浸し、家屋に七度振りまく。	
K レビ記	15:13 漏出のある人が、それがやんで清くなったならば、清めの期間としての七日間を経た後、衣服を水洗いし、新鮮な水で身を洗うと、清くなる。	
K レビ記	15:19 女性の生理が始まったならば、七日間は月経期間であり、この期間に彼女に触れた人はすべて夕方まで汚れている。	
K レビ記	15:24 もし、男が女と寝て月経の汚れを受けたならば、七日間汚れる。またその男が使った寝床はすべて汚れる。	
K レビ記	15:28 彼女が出血の汚れから清くなり、七日間が過ぎたならば、その後は清くなる。	
K レビ記	16:14 次に、雄牛の血を取って、指で贖いの座の東の面に振りまき、更に血の一部を指で、贖いの座の前方に七度振りまく。	
K レビ記	16:19 血の一部を指で七度祭壇に振りまいて、イスラエルの人々の汚れからそれを清め聖別する。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K レビ記	16:29 以下は、あなたたちの守るべき不変の定めである。第七の月の十日にはあなたたちは苦行をする。何の仕事もしてはならない。土地に生まれた者も、あなたたちのもとに寄留している者も同様である。	
K レビ記	22:27 牛、羊、山羊が生まれたときは、七日の間その母親のもとに置きなさい。八日目以後は主に燃やしてささげる献げ物として受け入れられる。	
K レビ記	23:3 六日の間仕事をする。七日目は最も厳かな安息日であり、聖なる集会の日である。あなたたちはいかなる仕事もしてはならない。どこに住もうとも、これは主のための安息日である。	
K レビ記	23:6 同じ月の十五日は主の除酵祭である。あなたたちは七日の間、酵母を入れないパンを食べる。	
K レビ記	23:8 七日の間、燃やして主にささげる献げ物を続けて、七日目に聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。	
K レビ記	23:15 あなたたちはこの安息日の翌日、すなわち、初穂を携え奉納物とする日から数え始め、満七週間を経る。	
K レビ記	23:16 七週間を経た翌日まで、五十日を数えたならば、主に新穀の献げ物をささげる。	
K レビ記	23:18 このパンのほかに、傷のない一歳の雄の小羊を七匹、若い雄牛一頭、雄羊二匹をささげる。これらは穀物の献げ物やぶどう酒の献げ物と共に主にささげる焼き尽くす献げ物であり、燃やして主にささげる宥めの香りである。	
K レビ記	23:24 イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の一日は安息の日として守り、角笛を吹き鳴らして記念し、聖なる集会の日としなさい。	
K レビ記	23:27 第七の月の十日は贖罪日である。聖なる集会を開きなさい。あなたたちは苦行をし、燃やして主にささげる献げ物を携えなさい。	
K レビ記	23:34 イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の十五日から主のために七日間の仮庵祭が始まる。	
K レビ記	23:36 七日の間、燃やして主にささげる物をささげ続ける。八日目には聖なる集会を開き、燃やして主にささげる物をささげる。これは聖なる集まりである。あなたたちはいかなる仕事もしてはならない。	
K レビ記	23:39 なお第七の月の十五日、あなたたちが農作物を収穫するときは、七日の間主の祭りを祝いなさい。初日にも八日目にも安息の日を守りなさい。	
K レビ記	23:40 初日には立派な木の実、なつめやしの葉、茂った木の枝、川柳の枝を取って来て、あなたたちの神、主の御前に七日の間、喜び祝う。	
K レビ記	23:41 毎年七日の間、これを主の祭りとして祝う。第七の月にこの祭りを祝うことは、代々にわたって守るべき不変の定めである。	
K レビ記	23:42 あなたたちは七日の間、仮庵に住まねばならない。イスラエルの土地に生まれた者はすべて仮庵に住まねばならない。	
K レビ記	25:4 七年目には全き安息を土地に与えねばならない。これは主のための安息である。畑に種を蒔いてはならない。ぶどう畑の手入れをしてはならない。	
K レビ記	25:8 あなたは安息の年を七回、すなわち七年を七回数えなさい。七を七倍した年は四十九年である。	
K レビ記	25:9 その年の第七の月の十日の贖罪日に、雄羊の角笛を鳴り響かせる。あなたたちは国中に角笛を吹き鳴らして、	
K レビ記	25:20 「七年目に種も蒔いてはならない、収穫もしてはならないとすれば、どうして食べていけるだろうか」とあなたたちは言うか。	
K レビ記	26:18 このような目に遭ってもまだ、わたしの言葉を聞かないならば、あなたたちの罪に七倍の罰を加えて懲らしめる。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	レビ記	26:21 それでも、まだわたしに反抗し、わたしの言葉を聞こうとしないならば、あなたたちの罪に七倍の災いを加える。	
K	レビ記	26:24 わたしもまた、あなたたちに立ち向かい、あなたたちの罪に七倍の災いをくだす。	
K	レビ記	26:28 わたしは激しい怒りをもって立ち向かい、あなたたちの罪に七倍の懲らしめを加える。	
K	民数記	1:27 すなわち、ユダ族の登録された者は七万四千六百人。	
K	民数記	1:31 すなわち、ゼブルン族の登録された者は五万七千四百人。	
K	民数記	1:39 すなわち、ダン族の登録された者は六万二千七百人。	
K	民数記	2:4 その部隊に登録された者の数は七万四千六百人。	
K	民数記	2:8 その部隊に登録された者の数は五万七千四百人。	
K	民数記	2:26 その部隊に登録された者の数は六万二千七百人。	
K	民数記	2:31 ダンの宿営に登録された者は総勢十五万七千六百人であって、その旗の下に最後を行進する。	
K	民数記	3:22 生後一か月以上のすべての男子で登録された者の数は七千五百人である。	
K	民数記	3:43 登録され、名を数えられた生後一か月以上の長子は、総数二万二千二百七十三人であった。	
K	民数記	3:46 イスラエルの人々の長子の数は、レビ人の数を二百七十三人超過している。この人数分の贖い金が必要である。	
K	民数記	4:36 氏族ごとに登録された者の数は二千七百五十人。	
K	民数記	6:9 もし人が思いがけず、突然自分のそばで死んで、献身のしるしである髪を汚したならば、七日目の清めの日に頭をそる。	
K	民数記	7:13 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:19 彼のささげた献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:25 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:31 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:37 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:43 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	民数記	7:48 第七日には、エフライムの人々の指導者アミフドの子エリシャマがささげた。	
K	民数記	7:49 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:55 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:61 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:67 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:73 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:79 彼の献げ物は、聖所のシェケルで重さ百三十シェケルの銀の皿一枚、重さ七十シェケルの銀の鉢一個。それぞれに穀物の献げ物としてオリーブ油を混ぜた上等の小麦粉が盛ってあった。	
K	民数記	7:85 銀の皿一枚は百三十シェケル、銀の鉢一個七十シェケル。従って、銀器の総量は聖所のシェケルで二千四百シェケル。	
K	民数記	8:2 アロンに告げてこう言いなさい。あなたがともし火皿を載せるとき、七つのともし火皿が燭台の前方を照らすようにしなさい。	
K	民数記	11:16 主はモーセに言われた。「イスラエルの長老たちのうちから、あなたが、民の長老およびその役人として認めうる者を七十人集め、臨在の幕屋に連れて来てあなたの傍らに立たせなさい。	
K	民数記	11:24 モーセは出て行って、主の言葉を民に告げた。彼は民の長老の中から七十人を集め、幕屋の周りに立たせた。	
K	民数記	11:25 主は雲のうちにあって降り、モーセに語られ、モーセに授けられている霊の一部を取って、七十人の長老にも授けられた。霊が彼らの上にとどまると、彼らは預言状態になったが、続くことはなかった。	
K	民数記	12:14 しかし主は、モーセに言われた。「父親が彼女の顔に唾したとしても、彼女は七日の間恥じて身を慎むではないか。ミリアムを七日の間宿営の外に隔離しなさい。その後、彼女は宿営に戻ることができる。」	
K	民数記	12:15 ミリアムは宿営の外に七日の間隔離された。民は、彼女が戻るまで出発しなかった。	
K	民数記	13:22 彼らはネゲブを上って行き、ヘブロンに着いた。そこには、アナク人の子孫であるアヒマンとシェシャイとタルマイが住んでいた。ヘブロンはエジプトのツォアンよりも七年前に建てられた町である。	
K	民数記	17:14 この災害による死者の数は一万四千七百人であった。コラの事件による死者はこの数に含まれていない。	
K	民数記	19:4 祭司エルアザルは、指でその血を取って、それを七度、臨在の幕屋の正面に向かって振りまく。	
K	民数記	19:11 どのような人の死体であれ、それに触れた者は七日の間汚れる。	
K	民数記	19:12 彼が三日目と七日目に罪を清める水で身を清めるならば、清くなる。しかし、もし、三日目と七日目に身を清めないならば、清くならない。	
K	民数記	19:14 人が天幕の中で死んだときの教えは次のとおりである。そのとき天幕に入った者、あるいはその中にいた者はすべて、七日の間汚れる。	
K	民数記	19:16 野外で剣で殺された者や死体、人骨や墓に触れた者はすべて、七日の間汚れる。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 民数記	19:19 三日目と七日目に、身の清い人が汚れた者に振りかける。汚れた者は、七日目に身を清め、衣服を洗い、体に水を浴びると、夕方には清くなる。	
K 民数記	23:1 バラムはバラクに言った。「わたしのために、ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と雄羊を用意しなさい。」	
K 民数記	23:4 神がバラムに会われたので、彼は神に言った。「わたしは七つの祭壇を築き、雄牛と雄羊をどの祭壇にもささげました。」	
K 民数記	23:14 バラクはバラムをピスガの頂の見晴らしのきく所に連れて行き、そこに七つの祭壇を築き、どの祭壇にも雄牛と雄羊をささげた。	
K 民数記	23:29 バラムはバラクに言った。「わたしのために、ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と七匹の雄羊を用意しなさい。」	
K 民数記	26:7 以上がガルベン人の諸氏族であり、登録された者は四万三千七百三十人であった。	
K 民数記	26:22 以上がユダの諸氏族であり、登録された者は七万六千五百人。	
K 民数記	26:34 以上がマナセの諸氏族であり、登録された者は五万二千七百人。	
K 民数記	26:51 以上がイスラエルの子孫で、登録された者は総計六十万一千七百三十人であった。	
K 民数記	28:11 毎月の一日には、若い雄牛二頭、雄羊一匹、無傷の一歳の羊七匹を焼き尽くす献げ物として、主にささげる。	
K 民数記	28:17 十五日は祭りの日である。あなたたちは七日の間、酵母を入れないパンを食べる。	
K 民数記	28:19 あなたたちは、若い雄牛二頭、雄羊一匹、一歳の羊七匹、すべて傷の無いものを、燃やしてささげる焼き尽くす献げ物として主にささげる。	
K 民数記	28:21 小羊七匹については、一匹につき十分の一エファをささげる。	
K 民数記	28:24 このようにして、七日の間、毎日、燃やして主にささげる宥めの香りを食物としてささげる。これは、日ごとの焼き尽くす献げ物とぶどう酒の献げ物に加えてささげるべきものである。	
K 民数記	28:25 七日目には、聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。	
K 民数記	◆七週祭の献げ物	
K 民数記	28:26 初物の日、すなわち七週祭に新穀の献げ物を主にささげるときには、聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。	
K 民数記	28:27 あなたたちは、若い雄牛二頭、雄羊一匹、一歳の羊七匹を、焼き尽くす献げ物として主にささげ、宥めの香りとする。	
K 民数記	28:29 小羊七匹については、一匹につき十分の一エファをささげる。	
K 民数記	◆第七の月の一日の献げ物	
K 民数記	29:1 第七の月の一日には聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。角笛を吹き鳴らす日である。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 民数記	29:2 あなたたちは、若い雄牛一頭、雄羊一匹、無傷の一歳の羊七匹を、焼き尽くす献げ物として主にささげ、宥めの香りとする。	
K 民数記	29:4 小羊七匹については、一匹につき十分の一エファをささげる。	
K 民数記	◆第七の月の十日の献げ物	
K 民数記	29:7 第七の月の十日には聖なる集会を開く。あなたたちは苦行をし、いかなる仕事もしてはならない。	
K 民数記	29:8 また若い雄牛一頭、雄羊一匹、一歳の羊七匹を焼き尽くす献げ物として主にささげて宥めの香りとする。それらは無傷のものでなければならない。	
K 民数記	29:10 小羊七匹については、一匹につき十分の一エファをささげる。	
K 民数記	◆第七の月の十五日の献げ物	
K 民数記	29:12 第七の月の十五日には聖なる集会を開く。いかなる仕事もしてはならない。七日の間主の祝いをする。	
K 民数記	29:32 七日目には、雄牛七頭、雄羊二匹、無傷の一歳の羊十四匹をささげ、	
K 民数記	29:36 あなたたちは雄牛一頭、雄羊一匹、無傷の一歳の羊七匹を焼き尽くす献げ物として主にささげ、燃やして宥めの香りとする。	
K 民数記	31:19 あなたたちは七日間、宿営の外にとどまりなさい。あなたたちでも捕虜でも、人を殺した者、殺された者に触れた者は皆、三日目と七日目に、身を清めなさい。	
K 民数記	31:24 七日目に衣服を洗うとあなたたちは清くなる。その後で、宿営に入りなさい。」	
K 民数記	31:32 分捕ったもの、すなわち兵士が略奪したものの残りは、羊六十七万五千匹、	
K 民数記	31:33 牛七万二千頭、	
K 民数記	31:36 戦いに出た者の分け前は、その半数であって、羊の数は三十三万七千五百匹、	
K 民数記	31:37 その羊のうち、主にささげる分は六百七十五匹、	
K 民数記	31:38 牛は三万六千頭、そのうち主にささげる分は七十二頭、	
K 民数記	31:43 つまり共同体に折半したものは、羊三十三万七千五百匹、	
K 民数記	31:52 千人隊長と百人隊長が主にささげた献納物の金は、合計一万六千七百五十シケルであった。	
K 民数記	33:9 マラを出発して、エリムに行った。エリムには十二の泉と七十本のなつめやしがあり、そこに宿営した。	
K 申命記	5:14 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、牛、ろばなどすべての家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。そうすれば、あなたの男女の奴隷もあなたと同じように休むことができる。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 申命記	◆七つの民を滅ぼせ	
K 申命記	7:1 あなたが行って所有する土地に、あなたの神、主があなたを導き入れ、多くの民、すなわちあなたにまさる数と力を持つ七つの民、ヘト人、ギルガシ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人をあなたの前から追い払い、	
K 申命記	10:22 あなたの先祖は七十人でエジプトに下ったが、今や、あなたの神、主はあなたを天の星のように数多くされた。	
K 申命記	15:1 七年目ごとに負債を免除しなさい。	
K 申命記	15:9「七年目の負債免除の年が近づいた」と、よこしまな考えを持って、貧しい同胞を見捨て、物を断ることのないように注意しなさい。その同胞があなたを主に訴えるならば、あなたは罪に問われよう。	
K 申命記	15:12 同胞のヘブライ人の男あるいは女が、あなたのところに売られて来て、六年間奴隷として仕えたならば、七年目には自由の身としてあなたのもとを去らせねばならない。	
K 申命記	16:3 その際、酵母入りのパンを食べてはならない。七日間、酵母を入れない苦みのパンを食べなさい。あなたはエジプトの国から急いで出たからである。こうして、あなたはエジプトの国から出た日を生涯思い起こさねばならない。	
K 申命記	16:4 七日間、国中どこにも酵母があってはならない。祭りの初日の夕方屠った肉を、翌朝まで残してはならない。	
K 申命記	16:8 六日間酵母を入れないパンを食べ、七日目にはあなたの神、主のために聖なる集まりを行い、いかなる仕事もしてはならない。	
K 申命記	16:9 あなたは七週を数えねばならない。穀物に鎌を入れる時から始めて七週を数える。	
K 申命記	16:10 そして、あなたの神、主のために七週祭を行い、あなたの神、主より受けた祝福に応じて、十分に、あなたがささげうだけの収穫の献げ物をしなさい。	
K 申命記	16:13 麦打ち場と酒ぶねからの収穫が済んだとき、あなたは七日間、仮庵祭を行いなさい。	
K 申命記	16:15 七日間、主の選ばれる場所でああなたの神、主のために祭りをを行いなさい。あなたの神、主があなたの収穫と手の業をすべて祝福される。あなたはただそれを喜び祝うのである。	
K 申命記	16:16 男子はすべて、年に三度、すなわち除酵祭、七週祭、仮庵祭に、あなたの神、主の御前、主の選ばれる場所に出ねばならない。ただし、何も持たずに主の御前には出ない。	
K 申命記	28:7 主は、あなたに立ち向かう敵を目の前で撃ち破られる。敵は一つの道から攻めて来るが、あなたの前に敗れて七つの道に逃げ去る。	
K 申命記	28:25 主は敵の前でああなたを撃ち破らせられる。あなたは一つの道から敵を攻めるが、その前に敗れて七つの道に逃げ去る。あなたは地上のすべての王国にとって恐るべき見せしめとなる。	
K 申命記	◆七年ごとの律法の朗読	
K 申命記	31:10 モーセは彼らに命じて言った。「七年目の終わり、つまり負債免除の年の定めの時、仮庵祭に、	
K ヨシュア記	6:4 七人の祭司は、それぞれ雄羊の角笛を携えて神の箱を先導しなさい。七日目には、町を七周し、祭司たちは角笛を吹き鳴らしなさい。	
K ヨシュア記	6:6 ヌンの子ヨシュアは、まず祭司たちを呼び集め、「契約の箱を担げ。七人は、各自雄羊の角笛を携えて主の箱を先導せよ」と命じ、	
K ヨシュア記	6:8 ヨシュアが民に命じ終わると、七人の祭司は、それぞれ雄羊の角笛を携え、それを吹き鳴らしながら主の前を歩き、主の契約の箱はその後を進んだ。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K ヨシュア記	6:13 七人の祭司はそれぞれ雄羊の角笛を携え、それを吹き鳴らしながら主の箱の前を進んだ。武装兵は、更にその前衛として進み、また後衛として主の箱に従った。行進中、角笛は鳴り渡っていた。	
K ヨシュア記	6:15 七日目は朝早く、夜明けとともに起き、同じようにして町を七度回った。町を七度回ったのはこの日だけであった。	
K ヨシュア記	6:16 七度目に、祭司が角笛を吹き鳴らすと、ヨシュアは民に命じた。「鬨の声をあげよ。主はあなたたちにこの町を与えられた。	
K ヨシュア記	◆その他の七部族	
K ヨシュア記	18:2 イスラエルの人々の中には、まだ嗣業の土地の割り当てを受けていない部族が七つ残っていた。	
K ヨシュア記	18:5 そして、彼らにそれを七つに分割させよう。ただユダは南部の領土に、ヨセフの家は北部の領土にとどませよう。	
K ヨシュア記	18:6 土地を七つに分割したら、その記録をわたしのところに持って来なさい。わたしたちの神、主の前で、わたしはあなたたちのためにくじを引く。	
K ヨシュア記	18:9 その人たちは出発し、その地方を巡回し、町々を七つの割り当て地に分けて、記録に書き留め、シロの宿営にいるヨシュアのもとに帰った。	
K ヨシュア記	19:40 ダンの人々の部族は氏族ごとに七番目のくじで割り当てを受けた。	
K 士師記	1:7 アドニ・ベゼクは言った。「かつて七十人の王の手足の親指を切って、わたしの食卓の下で食べかすを拾わせたことがあったが、神はわたしが行ったとおりにわたしに仕返しされた。」彼はエルサレムに連れて行かれ、そこで死んだ。	
K 士師記	6:1 イスラエルの人々は、主の目に悪とされることを行った。主は彼らを七年間、ミディアン人の手に渡された。	
K 士師記	6:25 その夜、主はギデオンに言われた。「あなたの父の若い雄牛一頭、すなわち七歳になる第二の若い牛を連れ出し、あなたの父のものであるバルの祭壇を壊し、その傍らのアシェラ像を切り倒せ。	
K 士師記	8:14 彼はスコトの人々の中から一人の青年を捕らえて尋問し、スコトの指導者と、長老七十七人の名を書かせた。	
K 士師記	8:26 彼の求めに応じて集まった金の耳輪の目方は、金千七百シェケルで、そのほかに三日月形の飾り、垂れ飾り、ミディアンの王たちがまとっていた紫布の衣服、らくだの首に巻きつけてあった飾り物があった。	
K 士師記	8:30 ギデオンには多くの妻がいたので、その腰から出た息子は七十人を数えた。	
K 士師記	9:2 「シケムのすべての首長にこう言い聞かせてください。あなたたちにとって、エルバアルの息子七十人全部に治められるのと、一人の息子に治められるのと、どちらが得か。ただしわたしが、あなたたちの骨であり肉だということを心に留めよ。」	
K 士師記	9:4 彼らがバル・ペリトの神殿から銀七十をとってアビメレクに渡すと、彼はそれで命知らずのならず者を数名雇い入れ、自分に従わせた。	
K 士師記	9:5 彼はオフラにある父の家に来て、自分の兄弟であるエルバアルの子七十人を一つの石の上で殺した。末の子ヨタムだけは身を隠して生き延びた。	
K 士師記	9:18 ところが今日、あなたたちはわたしの父の家に背いて立ち上がり、その息子七十人を一つの石の上で殺し、女奴隷の子アビメレクを、ただ自分たちの身内だからというだけで、シケムの首長たちの上を立てて王とした。	
K 士師記	9:24 こうしてエルバアルの七十人の息子に対する不法がそのままにされず、七十人を殺した兄弟アビメレクと、それに手を貸したシケムの首長たちの上に、血の報復が果たされることになる。	
K 士師記	9:56 神は、アビメレクが七十人の兄弟を殺して、父に加えた悪事の報復を果たされた。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 士師記	12:9 彼には三十人の息子と三十人の娘があった。三十人の娘は一族以外の者に嫁がせ、三十人の息子には一族以外から三十人の嫁を迎えた。彼は七年間、イスラエルを裁いた。	
K 士師記	12:14 彼には四十人の息子と三十人の孫がいて、七十頭のろばに乗っていた。彼は八年間、士師としてイスラエルを裁いた。	
K 士師記	14:12 サムソンは彼らに言った。「あなたたちになぞをかけたい。宴会の続く七日の間にその意味を解き明かし、言い当てるなら、わたしは麻の衣三十着、着替えの衣三十着を差し上げる。	
K 士師記	14:15 七日目になって、彼らはサムソンの妻に言った。「夫をうまく言いくるめて、あのなぞの意味を我々に明かすようにしてほしい。さもないと、火を放ってあなたを家族もろとも焼き殺してやる。まさか、我々からはぎ取るために招待したわけではないだろう。」	
K 士師記	14:17 宴会が行われた七日間、彼女は夫に泣きすがった。彼女がしつこくせがんだので、七日目に彼は彼女に明かしてしまった。彼女は同族の者にそのなぞを明かした。	
K 士師記	14:18 七日目のこと、日が沈む前に町の人々は彼に言った。「蜂蜜より甘いものは何か／獅子より強いものは何か。」するとサムソンは言った。「わたしの雌牛で耕さなかったなら／わたしのなぞは解けなかっただろう。」	
K 士師記	16:7 サムソンは、「乾いていない新しい弓弦七本で縛ればいい。そうすればわたしは弱くなり、並の人間のようにになってしまう」と答えた。	
K 士師記	16:8 ペリシテの領主たちが、乾いていない新しい弓弦を七本彼女に届けたので、彼女はそれでサムソンを縛った。	
K 士師記	16:13 デリラはサムソンに言った。「あなたは今度もわたしを侮り、うそをついたでしょう。あなたを縛り上げるにはどうすればいいのか教えてください。」彼が、「わたしの髪の毛七房を機の縦糸と共に織り込めばいいのだ」と言ったので、	
K 士師記	16:19 彼女は膝を枕にサムソンを眠らせ、人を呼んで、彼の髪の毛七房をそらせた。彼女はこうして彼を抑え始め、彼の力は抜けた。	
K 士師記	20:15 その日、町々からはせ参じたベニヤミンの人々は、数を調べると、剣を携えた兵士二万六千人、そのほかにギブアの住民からえり抜きの兵士七百人であった。	
K 士師記	20:16 七百人のえり抜きの兵士からなるこの部隊の皆が左利きで、髪の毛一筋をねらって石を投げても、その的をはずすことがなかった。	
K ルツ記	4:15 その子はあなたの魂を生き返らせる者となり、老後の支えとなるでしょう。あなたを愛する嫁、七人の息子にもまさるあの嫁がその子を産んだのですから。」	
K サムエル記上	2:5 食べ飽きている者はパンのために雇われ／飢えている者は再び飢えることがない。子のない女は七人の子を産み／多くの子をもつ女は衰える。	
K サムエル記上	6:1 主の箱は、七か月の間ペリシテの地にあった。	
K サムエル記上	6:19 主はベト・シメシュの人々を打たれた。主の箱の中をのぞいたからである。主は五万のうち七十人の民を打たれた。主が民に大きな打撃を与えられたので、民は喪に服した。	
K サムエル記上	10:8 わたしより先にギルガルに行きなさい。わたしもあなたのもとに行き、焼き尽くす献げ物と、和解の献げ物をささげましょう。わたしが着くまで七日間、待ってください。なすべきことを教えましょう。」	
K サムエル記上	11:3 ヤベシュの長老たちは彼に言った。「七日間の猶予をください。イスラエルの全土に使者を立てます。救ってくれる者がいなければ、我々はあなたのもとへ出て行きます。」	
K サムエル記上	13:8 サウルは、サムエルが命じたように、七日間待った。だが、サムエルはギルガルに来なかった。兵はサウルのもとから散り始めた。	
K サムエル記上	16:10 エッサイは七人の息子にサムエルの前を通らせたが、サムエルは彼に言った。「主はこれらの者をお選びにならない。」	
K サムエル記上	31:13 彼らの骨を拾ってヤベシュのぎよりゆうの木の下に葬り、七日間、断食した。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	サムエル記下	2:11 ダビデがユダの家の王としてヘブロンにとどまった期間は七年六か月であった。	
K	サムエル記下	5:5 七年六か月の間ヘブロンでユダを、三十三年の間エルサレムでイスラエルとユダの全土を統治した。	
K	サムエル記下	8:4 騎兵千七百、歩兵二万を捕虜とし、戦車の馬は、百頭を残して、そのほかはすべて臄を切ってしまった。	
K	サムエル記下	10:18 彼らはイスラエルの前から逃げ去った。ダビデはアラムの戦車兵七百、騎兵四万を殺し、軍の司令官シヨバクもその場で打ち殺した。	
K	サムエル記下	12:18 七日目にその子は死んだ。家臣たちは、その子が死んだとダビデに告げるのを恐れ、こう話し合った。「お子様がまだ生きておられたときですら、何を申し上げてもわたしたちの声に耳を傾けてくださらなかったのに、どうして亡くなられたとお伝えできよう。何かよくないことをなされはしまいか。」	
K	サムエル記下	21:6 あの男の子孫の中から七人をわたしたちに渡してください。わたしたちは主がお選びになった者サウルの町ギブアで、主の御前に彼らをさらし者にします。」王は、「引き渡そう」と言った。	
K	サムエル記下	21:9 ギブオン人の手に渡した。ギブオンの人々は彼らを山で主の御前にさらした。七人は一度に処刑された。彼らが殺されたのは刈り入れの初め、大麦の収穫が始まるころであった。	
K	サムエル記下	23:39 ヘト人ウリヤ。総員三十七名。	
K	サムエル記下	24:13 ガドはダビデのもとに来て告げた。「七年間の飢饉があなたの国を襲うことか、あなたが三か月間敵に追われて逃げる事か、三日間あなたの国に疫病が起ることか。よく考えて、わたしを遣わされた方にどうお答えすべきか、決めてください。」	
K	サムエル記下	24:15 主は、その朝から定められた日数の間、イスラエルに疫病をもたらされた。ダンからベエル・シェバまでの民のうち七万人が死んだ。	
K	列王記上	2:11 ダビデがイスラエルの王であった期間は四十年に及んだ。彼はヘブロンで七年、エルサレムで三十三年間王位にあった。	
K	列王記上	5:29 またソロモンには、荷役の労働者が七万人、山で石を切り出す労働者が八万人いた。	
K	列王記上	6:6 この脇間の幅は、一階五アンマ、二階六アンマ、三階七アンマであった。それは、脇間が下になるほど狭くなるようにして、建物の壁に梁をはめ込まずに済むようにしたからである。	
K	列王記上	6:38 同第十一年のブルの月、すなわち第八の月に神殿はその細部に至るまで計画どおりに完成した。その建築には七年を要した。	
K	列王記上	7:17 柱の頂にある柱頭に格子模様の浮き彫りを作り、網目模様の房を一方の柱頭に七つ付け、もう一方の柱頭にも七つ付けた。	
K	列王記上	8:2 エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人がソロモン王のもとに集まった。	
K	列王記上	8:65 そのときソロモンは、すべてのイスラエル人、レボ・ハマトからエジプトの川に至るまでの大会衆と共に、わたしたちの神、主の御前で祭りを執り行った。それは七日間、更に七日間、合わせて十四日間にわたった。	
K	列王記上	11:3 彼には妻たち、すなわち七百人の王妃と三百人の側室がいた。この妻たちが彼の心を迷わせた。	
K	列王記上	14:21 ユダではソロモンの子レハバムが王位についた。レハバムは四十一歳で王となり、十七年間エルサレムで王位にあった。エルサレムは、主が御名を置くためにイスラエルのすべての部族の中から選ばれた都であった。レハバムの母は名をナアマと言い、アンモン人であった。	
K	列王記上	16:10 ジムリは襲いかかって、エラを打ち殺した。ユダの王アサの治世第二十七年のことであった。ジムリはエラに代わって王となった。	
K	列王記上	16:15 ユダの王アサの治世第二十七年に、ティルツァでジムリが王となり、七日間王位にあった。そのとき、民はペリシテ領ギベトンに対して陣を敷いていた。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K 列王記上	18:43 「上って来て、海の方をよく見なさい」と彼は従者に言った。従者は上って来て、よく見てから、「何もありません」と答えた。エリヤは、「もう一度」と命じ、それを七度繰り返した。	
K 列王記上	18:44 七度目に、従者は言った。「御覧ください。手のひらほどの小さい雲が海のかなたから上って来ます。」エリヤは言った。「アハブのところの上って行き、激しい雨に閉じ込められないうちに、馬を車につないで下って行くように伝えなさい。」	
K 列王記上	19:18 しかし、わたしはイスラエルに七千人を残す。これは皆、バアルにひざまずかず、これに口づけしなかった者である。」	
K 列王記上	20:15 そこでアハブが、諸州の知事に属する若者たちを召集すると、その数は二百三十二名であった。続いてすべての民すなわちイスラエル人七千人を召集した。	
K 列王記上	20:29 両軍は、陣を張って七日間対峙した。七日目になって戦いを交え、イスラエル軍は一日でアラムの歩兵十万人を打ち倒した。	
K 列王記上	20:30 敗残兵はアフェクの町に逃げ込んだが、その敗残兵二万七千人の上に城壁が崩れ落ちた。ベン・ハダドも逃げてこの町に入り、部屋から部屋へと逃げ回った。	
K 列王記上	22:52 アハブの子アハズヤは、ユダの王ヨシヤフアの治世第十七年にサマリアでイスラエルの王となった。彼は二年間イスラエルの王位にあった。	
K 列王記下	3:9 イスラエルの王は、ユダの王およびエドムの王と共に出発したが、迂回するのに七日を費やし、部隊と連れて来た家畜のための水が底をついてしまった。	
K 列王記下	3:26 モアブの王は戦いが自分の力の及ばないものになってきたのを見て、剣を携えた兵七百人を引き連れ、エドムの王に向かって突進しようとしたが、果たせなかった。	
K 列王記下	4:35 彼は起き上がり、家の中をあちこち歩き回ってから、再び寝台に上がって子供の上にかがみ込むと、子供は七回くしゃみをして目を開いた。	
K 列王記下	5:10 エリシャは使いの者をやってこうさせた。「ヨルダン川に行つて七度身を洗いなさい。そうすれば、あなたの体は元に戻り、清くなります。」	
K 列王記下	5:14 ナアマンは神の人の言葉どおりに下って行って、ヨルダンに七度身を浸した。彼の体は元に戻り、小さい子供の体のようになり、清くなった。	
K 列王記下	8:1 エリシャは、かつてその子供を生き返らせてやったことのある婦人に言った。「あなたは家族と共に立ち去り、住める所に移り住みなさい。主が飢饉を呼び起こし、それはこの地にも及んで七年も続くからだ。」	
K 列王記下	8:2 婦人は直ちに神の人の言葉どおりに行動し、家族と共に立ち去り、ペリシテ人の地に七年間住んだ。	
K 列王記下	8:3 七年たつてから、その婦人はペリシテ人の地から帰り、王のもとに自分の家と畑の返還を求めて訴え出た。	
K 列王記下	10:1 アハブの子供が七十人サマリアにいた。イエフは手紙を書いてサマリアに送り、町の指導者、長老たちとアハブの子供の養育者たちにこう伝えた。	
K 列王記下	10:6 イエフは彼らにもう一通手紙を書いて、こう言った。「もしあなたたちがわたしの味方をし、わたしの命令に従うなら、あなたたちの主君の子供たちの首を取り、明日の今ごろ、イズレエルにいるわたしのもとに持って来なさい。」七十人の王子たちは、それぞれその養育に当たっていた町の有力者たちのところにいたが、	
K 列王記下	10:7 この手紙が届くと、彼らは王子たちを捕らえ、七十人を残らず殺し、その首を籠に入れ、イズレエルにいるイエフのもとに送った。	
K 列王記下	11:4 七年目に、ヨヤダは人を遣わして、カリ人と近衛兵からなる百人隊の長たちを神殿にいる自分のところに連れて来させ、彼らと契約を結んだ。彼は主の神殿の中で彼らに誓いを立てさせ、王子を見せて、	
K 列王記下	12:1 ヨアシュは王位についたとき、七歳であった。	
K 列王記下	12:2 イエフの治世第七年にヨアシュは王となり、四十年間エルサレムで王位にあった。その母は名をツィブヤといい、ベエル・シェバの出身であった。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	列王記下	13:1 ユダの王、アハズヤの子ヨアシュの治世第二十三年に、イエフの子ヨアハズがサマリアでイスラエルの王となり、十七年間王位にあった。	
K	列王記下	13:10 ユダの王ヨアシュの治世第三十七年に、ヨアハズの子ヨアシュがサマリアでイスラエルの王となり、十六年間王位にあった。	
K	列王記下	15:1 イスラエルの王ヤロブアムの治世第二十七年に、ユダの王、アマツヤの子アザルヤが王となった。	
K	列王記下	16:1 レマルヤの子ペカの治世第十七年に、ユダの王ヨタムの子アハズが王となった。	
K	列王記下	18:9 ヒゼキヤ王の治世第四年、イスラエルの王、エラの子ホシェアの治世第七年に、アッシリアの王シャルマナサルがサマリアに攻め上って来て、これを包囲し、	
K	列王記下	24:16 バビロンの王はすべての軍人七千人、職人と鍛冶千人、勇敢な戦士全員を、捕囚としてバビロンに連れて行った。	
K	列王記下	25:8 第五の月の七日、バビロンの王ネブカドネツアルの第十九年のこと、バビロンの王の家臣、親衛隊の長ネブザルダンがエルサレムに来て、	
K	列王記下	25:25 ところが第七の月に、王族の一人、エリシャマの孫でネタンヤの子であるイシュマエルが、十人の部下を率いて来てゲダルヤを打ち殺した。彼と共にミツパにいたユダの人々もカルデア人も打ち殺された。	
K	列王記下	25:27 ユダの王ヨヤキンが捕囚となって三十七年目の第十二の月の二十七日に、バビロンの王エビル・メロダクは、その即位の年にユダの王ヨヤキンに情けをかけ、彼を出獄させた。	
K	歴代誌上	2:15 六男オツェム、七男ダビデが生まれた。	
K	歴代誌上	3:4 ヘブロンで六人の息子がダビデに生まれた。ダビデはそこで七年と六か月、エルサレムで三十三年間王位にあった。	
K	歴代誌上	3:24 エルヨエナイの子は、ホダウヤ、エルヤシブ、ペラヤ、アクブ、ヨハナン、デラヤ、アナニの七人。	
K	歴代誌上	5:13 その家系に属する兄弟はミカエル、メシュラム、シェバ、ヨライ、ヤカン、ジア、エベルの七人である。	
K	歴代誌上	5:18 ルベンとガドの子孫およびマナセの半部族は、盾と剣を取る者、弓を引く者、戦いに熟練した兵士から成る四万四千七百六十人の戦闘員を持っていた。	
K	歴代誌上	7:5 イサカル全氏族の兄弟たちには、勇士が八万七千人いて、それぞれ登録されている。	
K	歴代誌上	7:11 彼らは皆エディアエルの子孫で、家系の長であり、勇士であった。一万七千二百人の戦闘員がいた。	
K	歴代誌上	9:13 それに彼らの兄弟で、それぞれの家系の長である者が千七百六十人いた。彼らは神殿の奉仕の職務について有能な人々であった。	
K	歴代誌上	9:25 村にいる彼らの兄弟たちは、時に応じて彼らを助けに来て七日間とどまった。	
K	歴代誌上	10:12 戦士たちは皆立って、サウルとその息子たちの屍を取りに行き、ヤベシュに持ち帰って、彼らの骨をヤベシュの榎の木の下に葬り、七日間、断食した。	
K	歴代誌上	12:12 第六はアタイ、第七はエリエル、	
K	歴代誌上	12:26 シメオンの一族からは戦いに備えた勇士七千百人。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	歴代誌上	12:28 アロン一族の指導者ヨヤダおよび彼と共にいた者三千七百人。	
K	歴代誌上	12:35 ナフタリ族からは將軍千人と、盾と槍を携える者三万七千人。	
K	歴代誌上	15:26 主の契約の箱を担ぐレビ人を神が助けてくださったので、彼らは雄牛七頭と雄羊七匹をいけにえとしてささげた。	
K	歴代誌上	18:4 戦車一千、騎兵七千、歩兵二万を捕獲し、戦車の馬は、百頭を残して、そのほかはすべて臄を切ってしまった。	
K	歴代誌上	19:18 彼らはイスラエルの前から逃げ去った。ダビデはアラムの戦車兵七千、歩兵四万を殺し、軍の司令官シヨファクも殺した。	
K	歴代誌上	21:5 ヨアブは調べた民の数をダビデに報告した。全イスラエルには剣を取りうる男子が百十万、ユダには剣を取りうる男子が四十七万であった。	
K	歴代誌上	21:14 主はそこでイスラエルに疫病をもたらされ、イスラエル人のうち七万人が倒れた。	
K	歴代誌上	24:10 第七のくじはハコツに、第八のくじはアビヤに、	
K	歴代誌上	24:15 第十七のくじはヘジルに、第十八のくじはハピツェツに、	
K	歴代誌上	25:14 第七のくじはエサルエラとその息子、その兄弟十二人に。	
K	歴代誌上	25:24 第十七のくじはヨシュベカシャとその息子、その兄弟十二人に。	
K	歴代誌上	26:3 五男エラム、六男ヨハナン、七男エルヨエナイ。	
K	歴代誌上	26:5 六男アミエル、七男イサカル、八男ペウレタイ。まことに神は彼を祝福された。	
K	歴代誌上	26:30 ヘブロンに属する者ではハシャブヤとその兄弟たち、すなわち勇者千七百人が、主に対するすべての務めと王に対する奉仕がなされるように、ヨルダン以西のイスラエルを監視することとなった。	
K	歴代誌上	26:32 そのエリヤの兄弟、勇者二千七百人は家系の長であり、ダビデ王は神と王にかかわるすべての事柄のために、彼らをルベン族、ガド族、マナセの半部族の上に任命した。	
K	歴代誌上	27:10 第七の月を担当する第七の將軍はエフライムの子らの一人ペロニ人ヘレツ。その組に二万四千人いた。	
K	歴代誌上	29:4 建物の壁を覆うためにオフィル産の金を三千キカル、精錬された銀を七千キカル寄贈する。	
K	歴代誌上	29:27 彼がイスラエルの王であった期間は四十年に及んだ。ヘブロンで七年、エルサレムで三十三年間王位にあった。	
K	歴代誌下	2:1 ソロモンは荷役の労働者七万人、山中で石を切り出す労働者八万人、その監督三千六百人を動員した。	
K	歴代誌下	2:17 そのうち七万人を荷役の労働者、八万人を山で石を切り出す労働者、三千六百人を民を働かせるための監督とした。	
K	歴代誌下	5:3 第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人が王のもとに集まった。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数 : 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙 : 七]
K	歴代誌下	7:8 そのときソロモンは、すべてのイスラエル人、レボ・ハマトからエジプトの川に至るまでの極めて大きな会衆と共に、七日間にわたって祭りを執り行った。	
K	歴代誌下	7:9 彼らは七日間、祭壇の奉献を行い、七日間、祭りを行って、八日目に聖なる集まりを開いた。	
K	歴代誌下	7:10 第七の月の二十三日に王は民を自分たちの天幕に帰させた。彼らは、主がダビデとソロモンとその民イスラエルになされた恵みの御業を喜び祝い、心は晴れやかであった。	
K	歴代誌下	8:13 安息日、新月祭、および、年に三度の祝祭日、除酵祭、七週祭、仮庵祭に関してモーセが命じたように、日ごとの定めに従って献げ物をささげた。	
K	歴代誌下	12:13 レハブアム王はエルサレムで勢力を増し、国を支配した。レハブアムは四十一歳で王となり、十七年間エルサレムで王位にあった。エルサレムは、主が御名を置くためにイスラエルのすべての部族の中から選ばれた都であった。レハブアムの母の名はナアマと言い、アンモン人であった。	
K	歴代誌下	13:9 また主の祭司であるアロンの子らとレビ人を追い払い、諸国の民と同じように自分たちの祭司を立てているではないか。若い雄牛一頭と雄羊七匹をもって任職を願った者が皆、神でないものの祭司になっている。	
K	歴代誌下	15:11 その日彼らは、分捕って引いて来た雄牛七百頭、羊七千匹を屠って主にささげた。	
K	歴代誌下	17:11 かえってペリシテ人のもとから貢ぎ物や税としての銀がヨシャファトに届けられ、アラビア人も雄羊七千七百匹、雄山羊七千七百匹を届けた。	
K	歴代誌下	23:1 七年目に、ヨヤダは決意を固め、百人隊の長たちエロハムの子アザルヤ、ヨハナンの子イシュマエル、オベドの子アザルヤ、アダヤの子マアセヤ、ジクリの子エリシャファトを連れて来て、彼らと契約を結んだ。	
K	歴代誌下	24:1 ヨアシュは七歳で王となり、四十年間エルサレムで王位にあった。その母は名をツイブヤといい、ベエル・シェバの出身であった。	
K	歴代誌下	26:13 その配下に、戦いに強い三十万七千五百人の軍隊があり、王の助けとなって敵に立ち向かった。	
K	歴代誌下	29:21 彼らは王家、聖所、ユダのための贖罪の献げ物として、雄牛七頭、雄羊七匹、小羊七匹、雄山羊七匹を引いて来た。王は祭司であるアロンの子らに向かって、主の祭壇の上で焼き尽くす献げ物をささげるように命じた。	
K	歴代誌下	29:32 会衆が携えて来た焼き尽くす献げ物の数は、雄牛七十頭、雄羊百匹、小羊二百匹であった。これらはすべて焼き尽くす献げ物として主にささげられるものであった。	
K	歴代誌下	30:21 エルサレムにいるイスラエルの人々は七日間の除酵祭を行い、大いに喜び祝った。レビ人と祭司たちは、毎日主をたたえる強力な楽器を鳴らして、主を賛美した。	
K	歴代誌下	30:22 ヒゼキヤは、主への奉仕によく通じたすべてのレビ人に励ましの言葉をかけた。彼らは和解の献げ物をささげ、先祖の神に感謝しつつ七日間にわたって、祭りの食事にあずかった。	
K	歴代誌下	30:23 それから、全会衆は更に七日間祭りをを行うことを決め、その七日間、祭りを喜び祝った。	
K	歴代誌下	30:24 ユダの王ヒゼキヤは雄牛千頭、羊七千匹を会衆に提供し、高官たちも雄牛千頭、羊一万匹を会衆に提供した。そこで多くの祭司が自分を聖別することになった。	
K	歴代誌下	31:7 第三の月に、その積み上げが始まり、第七の月に終わった。	
K	歴代誌下	35:17 こうしてその時、そこにいたイスラエルの人々は過越祭を祝い、除酵祭を七日間にわたって祝った。	
K	歴代誌下	36:21 こうして主がエレミヤの口を通して告げられた言葉が実現し、この地はついに安息を取り戻した。その荒廃の全期間を通じて地は安息を得、七十年の年月が満ちた。	
K	エズラ記	2:3 パルオシュの一族二千百七十二人、	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	エズラ記	2:4 シェファトヤの一族三百七十二人、	
K	エズラ記	2:5 アラの一族七百七十五人、	
K	エズラ記	2:9 ザカイの一族七百六十人、	
K	エズラ記	2:25 キルヤト・アリムとケフィラとベエロトの男子七百四十三人、	
K	エズラ記	2:33 ロド、ハデイド、オノの男子七百二十五人、	
K	エズラ記	2:36 祭司。エダヤの一族、すなわちイエシュアの家族九百七十三人、	
K	エズラ記	2:38 パシュフルの一族千二百四十七人、	
K	エズラ記	2:39 ハリムの一族千十七人。	
K	エズラ記	2:40 レビ人。イエシュアとカドミエル、ビヌイ、ホダウヤの一族七十四人。	
K	エズラ記	2:65 ほかに男女の使用人がいて、それが七千三百三十七人いた。また、男女の詠唱者が二百人いた。	
K	エズラ記	2:66 彼らの馬は七百三十六頭、らばは二百四十五頭、	
K	エズラ記	2:67 らくだは四百三十五頭、ろばは六千七百二十頭であった。	
K	エズラ記	3:1 第七の月になって、イスラエルの人々は自分たちの町にいたが、民はエルサレムに集まって一人の人のようになった。	
K	エズラ記	3:6 第七の月の一日に、彼らは主に焼き尽くす献げ物をささげ始めた。しかし、主の神殿の基礎はまだ据えられていなかった。	
K	エズラ記	6:22 そして七日間にわたって、喜び祝いつつ除酵祭を行った。主がアッシリアの王の心を彼らに向け、イスラエルの神の神殿を再建する工事を支援させて、彼らに喜びを与えられたからである。	
K	エズラ記	7:7 アルタクセルクセス王の第七年に、イスラエルの人々、祭司、レビ人、詠唱者、門衛、神殿の使用人から成る一団がエルサレムに上り、	
K	エズラ記	7:8 同王の第七年の第五の月にエルサレムに到着した。	
K	エズラ記	7:14 わたしは七人の顧問官と共にあなたに次の使命を託す。すなわちあなたにゆだねられた神の律法に従って、ユダとエルサレムの事情を調べること、	
K	エズラ記	8:7 エラムの一族から、アタルヤの子エシャヤと男七十人。	
K	エズラ記	8:14 ビグワイの一族から、ウタイ、ザクルと男七十人。	
K	エズラ記	8:35 捕らわれの地から帰って来た捕囚の子らは、イスラエルの神に焼き尽くす献げ物をささげた。雄牛十二頭を全イスラエルのために、また雄羊九十六匹、小羊七十七匹、贖罪のための雄山羊十二匹をささげた。これらはすべて主への焼き尽くす献げ物とした。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	ネヘミア記	7:8 パルオシュの一族二千百七十二人、	
K	ネヘミア記	7:9 シェファトヤの一族三百七十二人、	
K	ネヘミア記	7:14 ザカイの一族七百六十人、	
K	ネヘミア記	7:18 アドニカム一族六百六十七人、	
K	ネヘミア記	7:19 ビグワイの一族二千六十七人、	
K	ネヘミア記	7:29 キルヤト・エアリムと、ケフィラとベエロトの男子七百四十三人、	
K	ネヘミア記	7:37 ロド、ハデイド、オノの一族七百二十一人、	
K	ネヘミア記	7:39 祭司。エダヤの一族、すなわちイエシュアの一族九百七十三人、	
K	ネヘミア記	7:41 パシュフルの一族千二百四十七人、	
K	ネヘミア記	7:42 ハリム一族千十七人。	
K	ネヘミア記	7:43 レビ人。イエシュアとカドミエル、ビヌイ、ホダウヤの一族七十四人。	
K	ネヘミア記	7:67 ほかに男女の使用人が七千三百三十七人いた。また、男女の詠唱者が二百四十五人いた。	
K	ネヘミア記	7:68 らくだは四百三十五頭、ろばは六千七百二十頭であった。	
K	ネヘミア記	7:71 残りの民が差し出したのは、金二万ドラクメ、銀二千マネ、祭司の衣服六十七着であった。	
K	ネヘミア記	7:72 第七の月になり、イスラエルの人々は自分たちの町にいたが、	
K	ネヘミア記	8:2 祭司エズラは律法を会衆の前に持って来た。そこには、男も女も、聞いて理解することのできる年齢に達した者は皆いた。第七の月の一日のことであった。	
K	ネヘミア記	8:14 主がモーセによって授けられたこの律法の中にこう記されているのを見いだした。イスラエルの人々は第七の月の祭りの期間を仮庵で過ごさなければならず、	
K	ネヘミア記	8:18 最初の日から最後の日まで、毎日彼は神の律法の書を朗読し、彼らは七日間にわたって祭りをを行い、八日目には定めに従って終わりの集会を行った。	
K	ネヘミア記	10:32 わたしたちは、この地の民が安息日に商品をはじめ、いかなる種類の穀物を持って来て売ろうとしても、安息日と他の聖なる日には買わない。わたしたちは、七年ごとに耕作を休み、あらゆる負債を免除する。	
K	ネヘミア記	11:19 門衛では、アクブ、タルモンおよび門を警備する彼らの仲間百七十二人。	
K	エステル記	1:1 クセルクセスの時代のことである。このクセルクセスは、インドからクシュに至るまで百二十七州の支配者であった。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K エステル記	1:5 それが終わると、王は七日間、酒宴を王宮の庭園で催し、要塞の町スサに住む者を皆、身分の上下を問わず招いた。	
K エステル記	1:10 七日目のことである。ぶどう酒で上機嫌になったクセルクセス王は、そば近く仕える宦官メフマン、ビゼタ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタル、カルカスの七人に命じて、	
K エステル記	1:14 王は、王の側近で、王国の最高の地位にある、ペルシアとメディアの七人の大臣カルシェナ、シェタル、アドマタ、タルシシュ、メレス、マルセナ、ムムカンを呼び寄せた。	
K エステル記	2:9 彼はエステルに好意を抱き、目をかけた。早速化粧品と食べ物を与え、王宮からえり抜きの女官七人を彼女にあてがい、彼女を女官たちと共に後宮で特別扱いた。	
K エステル記	2:16 さて、エステルは王宮のクセルクセス王のもとに連れて行かれた。その治世の第七年の第十の月、すなわちテベトの月のことである。	
K エステル記	8:9 そのころ、第三の月のこと、すなわちシワンの月の二十三日に、王の書記官が召集され、インドからクシュに至るまで、百二十七州にいるユダヤ人と総督、地方長官、諸州の高官たちに対してモルデカイが命ずるがままに文書が作成された。それは各州ごとにその州の文字で、各民族ごとにその民族の言語で、ユダヤ人にはユダヤ文字とその言語で、	
K エステル記	9:16 王国の諸州にいる他のユダヤ人も集合して自分たちの命を守り、敵をなくして安らぎを得、仇敵七万五千人を殺した。しかし、持ち物には手をつけなかった。	
K エステル記	9:30 クセルクセスの王国百二十七州にいるすべてのユダヤ人に、平和と真実の言葉をもって文書が送られ、	
K ヨブ記	1:2 七人の息子と三人の娘を持ち、	
K ヨブ記	1:3 羊七千匹、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭の財産があり、使用人も非常に多かった。彼は東の国一番の富豪であった。	
K ヨブ記	2:13 彼らは七日七晩、ヨブと共に地面に座っていたが、その激しい苦痛を見ると、話しかけることもできなかった。	
K ヨブ記	5:19 六度苦難が襲っても、あなたを救い／七度襲っても／災いがあなたに触れないようにしてください。	
K ヨブ記	42:8 しかし今、雄牛と雄羊を七頭ずつわたしの僕ヨブのところに引いて行き、自分のためにいけにえをささげれば、わたしの僕ヨブはお前たちのために祈ってくれるであろう。わたしはそれを受け入れる。お前たちはわたしの僕ヨブのようにわたしについて正しく語らなかつたのだが、お前たちに罰を与えないことにしよう。」	
K ヨブ記	42:13 彼はまた七人の息子と三人の娘をもうけ、	
K 詩編	12:7 主の仰せは清い。土の炉で七たび練り清めた銀。	
K 詩編	79:12 主よ、近隣の民のふところに／あなたを辱めた彼らの辱めを／七倍にして返してください。	
K 詩編	90:10 人生の年月は七十年程のものです。健やかな人が八十年を数えても／得るところは労苦と災いにすぎません。瞬く間に時は過ぎ、わたしたちは飛び去ります。	
K 詩編	119:164 日に七たび、わたしはあなたを賛美します／あなたの正しい裁きのゆえに。	
K 箴言	6:16 主の憎まれるものが六つある。心からいとわれるものが七つある。	
K 箴言	6:31 それでもつかまれば、七倍の償いをし／家財の一切をそれにあてなければならぬ。	
K 箴言	9:1 知恵は家を建て、七本の柱を刻んで立てた。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数:606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙:七]
K	箴言	24:16 神に従う人は七度倒れても起き上がる。神に逆らう者は災難に遭えばつまずく。	
K	箴言	26:16 怠け者は自分を賢者だと思い込む／聡明な答えのできる人七人にもまさって。	
K	箴言	26:25 上品な声を出すからといって信用するな／心には七つの忌むべきことを持っている。	
K	コレヘトの言葉	11:2 七人と、八人とすら、分かち合っておけ／国にどのような災いが起こるか／分かったものではない。	
K	イザヤ書	4:1 その日には、七人の女が／一人の男をとらえて言う。「自分のパンを食べ、自分の着物を着ますから／どうか、あなたの名を名乗ることを許し／わたしたちの恥を取り去ってください」と。	
K	イザヤ書	11:15 主はエジプトの海の入り江を干上がらせ／御手を大河の上に振って、強風を起こし／それを打って七つの流れとし／サンダルのまま渡れるようにされる。	
K	イザヤ書	23:15 その日が来ると／ティルスは、一人の王の生涯に等しい七十年の間／忘れられているが／その七十年が終わると／ティルスは遊女の歌にうたわれているようになる。	
K	イザヤ書	23:17 七十年が終わると、主はティルスを顧みられる。そのとき、彼女は再び遊女の報酬を取り、地上にある世界のすべての国々と姦淫する。	
K	イザヤ書	30:26 主が民の傷を包み／重い打ち傷をいやされる日／月の光は太陽の光になり／太陽の光は七倍になり／七つの日の光となる。	
K	エレミヤ書	15:9 七人の子の母はくずおれてあえぐ。太陽は日盛りに沈み／彼女はうろたえ、絶望する。わたしは敵の前で民の残りの者を剣に渡すと／主は言われる。	
K	エレミヤ書	25:11 この地は全く廃墟となり、人の驚くところとなる。これらの民はバビロンの王に七十年の間仕える。	
K	エレミヤ書	25:12 七十年が終わると、わたしは、バビロンの王とその民、またカルデア人の地をその罪のゆえに罰する、と主は言われる。そして、そこをとこしえに荒地とする。	
K	エレミヤ書	28:17 預言者ハナンヤは、その年の七月に死んだ。	
K	エレミヤ書	29:10 主はこう言われる。バビロンに七十年の時が満ちたなら、わたしはあなたたちを顧みる。わたしは恵みの約束を果たし、あなたたちをこの地に連れ戻す。	
K	エレミヤ書	32:9 そこで、わたしはいとこのハナムエルからアナトトにある畑を買い取り、銀十七シケルを量って支払った。	
K	エレミヤ書	34:14 だれでも、同胞であるヘブライ人が身を売って六年間、あなたのために働いたなら、七年目には自由の身として、あなたのもとから去らせなければならない、と。ところが、お前たちの先祖はわたしに聞き従わず、耳を傾けようとしなかった。	
K	エレミヤ書	41:1 とこが七月に、王族の一人で、王の高官でもあった、エリシャマの孫でネタンヤの子であるイシュマエルが、十人の部下を率いてミツパに赴き、アヒカムの子ゲダルヤを訪ね、ミツパで食事を共にした。	
K	エレミヤ書	52:25 また、彼は戦士の監督をする宦官一人、都にいた王の側近七人、国の民の徴兵を担当する將軍の書記官、および都にいた国の民六十人を都から連れ去った。	
K	エレミヤ書	52:28 ネブカドレツアルが捕囚として連れ去った民の数をここに記すと、第七年に連れ去ったユダの人々が三千二十三人、	
K	エレミヤ書	52:30 ネブカドレツアルの第二十二年には、親衛隊の長ネブザルアダンがユダの人々七百四十五人を捕囚として連れ去った。総数は四千六百人である。	
K	エレミヤ書	52:31 ユダの王ヨヤキンが捕囚となって三十七年目の十二月二十五日に、バビロンの王エビル・メロダクは、その即位の年にユダの王ヨヤキンに情けをかけ、彼を出獄させた。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K エゼキエル書	3:15 こうしてわたしは、ケバル川の河畔のテル・アビブに住む捕囚民のもとに来たが、彼らの住んでいるそのところに座り、ぼう然として七日間、彼らの間にとどまっていた。	
K エゼキエル書	3:16 七日の後、主の言葉がわたしに臨んだ。	
K エゼキエル書	8:11 その前に、イスラエルの長老七十人が、シャファンの子ヤアザンヤを中心にして立っていた。彼らは、それぞれ香炉を手にしており、かぐわしい煙が立ち昇っていた。	
K エゼキエル書	20:1 第七年の五月のことであった。その月の十日に、イスラエルの長老たち数人が、主の御心を問うために来て、わたしの前に座った。	
K エゼキエル書	29:17 第二十七年の一月一日に、主の言葉がわたしに臨んだ。	
K エゼキエル書	30:20 第十一年の一月七日に、主の言葉がわたしに臨んだ。	
K エゼキエル書	39:9 イスラエルの町々に住む者は出て来て、もろもろの武器、すなわち盾と大盾、弓矢、棍棒、槍を火で燃やす。彼らはそれで七年間火を燃やし続ける。	
K エゼキエル書	39:12 イスラエルの家はその地を清めるため、七か月の間彼らを埋める。	
K エゼキエル書	39:14 民は、常に国中を行き巡る人々を選び、彼らにその土地に残っている侵入者たちを埋めさせ、その地を清めさせる。彼らは七か月の終わりまで、残っている者を探すであろう。	
K エゼキエル書	40:22 明かり取りの格子窓と廊となつめやしの飾りは東の方に向いている門と同じ寸法であった。それから七段の石段を上って入ると、その先に廊があった。	
K エゼキエル書	40:26 七段の石段を上ると、その先に廊があり、なつめやしの飾りが一つずつ両側の脇柱にあった。	
K エゼキエル書	41:3 内部に入って、次の入り口の脇柱の厚さを測ると二アンマ、その入り口自体の幅は六アンマ、入り口の両側の壁の幅はそれぞれ七アンマであった。	
K エゼキエル書	41:12 神殿の西側にある神域に面した別殿は奥行き七十アンマ、建物の周囲の壁は厚さ五アンマ、建物の横幅は九十アンマであった。	
K エゼキエル書	43:25 あなたは、七日の間、毎日、贖罪の献げ物の雄山羊をささげ、また若い雄牛と群れの中から選んだ無傷の雄羊を選んでささげなさい。	
K エゼキエル書	43:26 七日の間、彼らは祭壇を贖い、清めて、奉献しなければならない。	
K エゼキエル書	44:26 祭司は、身を清めたのち、七日間、待たねばならない。	
K エゼキエル書	45:20 また、その月の七日に、あなたは、誤って罪を犯した者、また知らないで罪を犯した者のために、同じようにして神殿を清めねばならない。	
K エゼキエル書	45:21 一月十四日に、あなたたちは、過越祭を七日の間祝い、酵母を入れないパンを食べねばならない。	
K エゼキエル書	45:23 その祭りの七日の間、焼き尽くす献げ物として、無傷の雄牛七頭と雄羊七匹を七日の間毎日、主にささげねばならない。また、贖罪の献げ物として、雄山羊を毎日ささげねばならない。	
K エゼキエル書	45:25 七月十五日の祭りにも、同じように七日の間、贖罪の献げ物、焼き尽くす献げ物、穀物の献げ物と油をささげねばならない。」	
K ダニエル書	3:19 ネブカドネツアル王はシャドラク、メシャク、アベド・ネゴに対して血相を変えて怒り、炉をいつもの七倍も熱く燃やすように命じた。	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
K	ダニエル書	4:13 その心は変わって、人の心を失い／獣の心が与えられる。こうして、七つの時が過ぎるであろう。	
K	ダニエル書	4:20 また、王様は聖なる見張りの天使が天から降って来るのを御覧になりました。天使はこう言いました。この木を切り倒して滅ぼせ。ただし、切り株と根を地中に残し、これに鉄と青銅の鎖をかけて野の草の中に置け。天の露にぬれるにまかせ、獣と共に野の草を食らわせ、七つの時を過ごさせよ、と。	
K	ダニエル書	4:22 あなたは人間の社会から追放されて野の獣と共に住み、牛のように草を食べ、天の露にぬれ、こうして七つの時を過ごすでしょう。そうして、あなたはついに、いと高き神こそが人間の王国を支配し、その御旨のままにそれをだれにでも与えられるのだということを悟るでしょう。	
K	ダニエル書	4:29 お前は人間の社会から追放されて、野の獣と共に住み、牛のように草を食らい、七つの時を過ごすのだ。そうしてお前はついに、いと高き神こそが人間の王国を支配する者で、神は御旨のままにそれをだれにでも与えるのだということを悟るであろう。」	
K	ダニエル書	◆定め七十週	
K	ダニエル書	9:2 さて、わたしダニエルは文書を読んでいて、エルサレムの荒廃の時が終わるまでには、主が預言者エレミヤに告げられたように七十年という年数のあることを悟った。	
K	ダニエル書	9:24 お前の民と聖なる都に対して／七十週が定められている。それが過ぎると逆らいは終わり／罪は封じられ、不義は償われる。とこしえの正義が到来し／幻と預言は封じられ／最も聖なる者に油が注がれる。	
K	ダニエル書	9:25 これを知り、目覚めよ。エルサレム復興と再建についての／御言葉が出されてから／油注がれた君の到来まで／七週あり、また、六十二週あって／危機のうちに広場と堀は再建される。	
K	ミカ書	5:4 彼こそ、まさしく平和である。アッシリアが我々の国を襲い／我々の城郭を踏みじろうとしても／我々は彼らに立ち向かい／七人の牧者、八人の君主を立てる。	
K	ハガイ書	2:1 七月二十一日に、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。	
K	ゼカリヤ書	1:12 それに答えて、主の御使いは言った。『万軍の主よ、いつまでエルサレムとユダの町々を憐れんでくださらないのですか。あなたの怒りは七十年も続いています。』	
K	ゼカリヤ書	3:9 ここに石がある。これはわたしがヨシュアの前に差し出すものだ。この一つの石に七つの目がある。わたしはそこに碑文を刻む、と万軍の主は言われる。そして、一日のうちにこの地の罪を取り除く。	
K	ゼカリヤ書	4:2 彼はわたしに、「何を見ていたのか」と尋ねたので、わたしは答えた。「わたしが見ていたのは、すべてが金でできた燭台で、頭部には容器が置かれていました。その上に七つのともし火皿が付けられており、頭部に置かれているともし火皿には七つの管が付いていました。	
K	ゼカリヤ書	4:10 誰が初めのささやかな日をさげすむのか。ゼルバベルの手にある選び抜かれた石を見て／喜び祝うべきである。その七つのものは、地上をくまなく見回る主の御目である。」	
K	ゼカリヤ書	◆第七の幻	
K	ゼカリヤ書	7:5 「国の民すべてに言いなさい。また祭司たちにも言いなさい。五月にも、七月にも／あなたたちは断食し、嘆き悲しんできた。こうして七十年にもなるが／果たして、真にわたしのために断食してきたか。	
K	ゼカリヤ書	8:19 「万軍の主はこう言われる。四月の断食、五月の断食、七月の断食、十月の断食はユダの家が喜び祝う楽しい祝祭の時となる。あなたたちは真実と平和を愛さねばならない。	
S	マタイによる福音書	12:45 そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を一緒に連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。この悪い時代の者たちもそのようになる。」	
S	マタイによる福音書	15:34 イエスが「パンは幾つあるか」と言われると、弟子たちは、「七つあります。それに、小さい魚が少しばかり」と答えた。	
S	マタイによる福音書	15:36 七つのパンと魚を取り、感謝の祈りを唱えてこれを裂き、弟子たちにお渡しになった。弟子たちは群衆に配った。	
S	マタイによる福音書	15:37 人々は皆、食べて満腹した。残ったパンの屑を集めると、七つの籠いっぱいになった。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
S マタイによる福音書	16:10 また、パン七つを四千人に分けたときは、残りを幾籠に集めたか。	
S マタイによる福音書	18:21 そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」	
S マタイによる福音書	18:22 イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」	
S マタイによる福音書	22:25 さて、わたしたちのところ、七人の兄弟がいました。長男は妻を迎えましたが死に、跡継ぎがなかったので、その妻を弟に残しました。	
S マタイによる福音書	22:26 次男も三男も、ついに七人とも同じようになりました。	
S マタイによる福音書	22:28 すると復活の時、その女は七人のうちのだれの妻になるのでしょうか。皆その女を妻にしたのです。」	
S マルコによる福音書	8:5 イエスが「パンは幾つあるか」とお尋ねになると、弟子たちは、「七つあります」と言った。	
S マルコによる福音書	8:6 そこで、イエスは地面に座るように群衆に命じ、七つのパンを取り、感謝の祈りを唱えてこれを裂き、人々に配るようと弟子たちにお渡しになった。弟子たちは群衆に配った。	
S マルコによる福音書	8:8 人々は食べて満腹したが、残ったパンの屑を集めると、七籠になった。	
S マルコによる福音書	8:20 「七つのパンを四千人に裂いたときには、集めたパンの屑でいっぱいになった籠は、幾つあったか。」「七つです」と言うと、	
S マルコによる福音書	12:20 ところで、七人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、跡継ぎを残さないで死にました。	
S マルコによる福音書	12:22 こうして、七人とも跡継ぎを残しませんでした。最後にその女も死にました。	
S マルコによる福音書	12:23 復活の時、彼らが復活すると、その女はだれの妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。」	
S マルコによる福音書	16:9 [イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。]	
S ルカによる福音書	2:36 また、アシェル族のファヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。非常に年をとって、若いとき嫁いだから七年間夫と共に暮らしたが、	
S ルカによる福音書	8:2 悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア、	
S ルカによる福音書	◆七十二人を派遣する	
S ルカによる福音書	10:1 その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。	
S ルカによる福音書	◆七十二人、帰って来る	
S ルカによる福音書	10:17 七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。「主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。」	
S ルカによる福音書	11:26 そこで、出かけて行き、自分よりも悪いほかの七つの霊を連れて来て、中に入り込んで、住み着く。そうすると、その人の後の状態は前よりも悪くなる。」	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
S	ルカによる福音書	17:4 一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」	
S	ルカによる福音書	20:29 ところで、七人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、子がないまま死にました。	
S	ルカによる福音書	20:31 三男と次々にこの女を妻にしましたが、七人とも同じように子供を残さないで死にました。	
S	ルカによる福音書	20:33 すると復活の時、その女はだれの妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。」	
S	ヨハネによる福音書	◆イエス、七人の弟子に現れる	
S	使徒言行録	◆ステファノたち七人の選出	
S	使徒言行録	6:3 それで、兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。	
S	使徒言行録	7:14 そこで、ヨセフは人を遣わして、父ヤコブと七十五人の親族一同を呼び寄せました。	
S	使徒言行録	13:19 カナンの地では七つの民族を滅ぼし、その土地を彼らに相続させてくださったのです。	
S	使徒言行録	19:14 ユダヤ人の祭司長スケワという者の七人の息子たちがこんなことをしていた。	
S	使徒言行録	20:6 わたしたちは、除酵祭の後フィリピから船出し、五日でトロアスに来て彼らと落ち合い、七日間そこに滞在した。	
S	使徒言行録	21:4 わたしたちは弟子たちを探し出して、そこに七日間泊まった。彼らは“霊”に動かされ、エルサレムへ行かないようにと、パウロに繰り返して言った。	
S	使徒言行録	21:8 翌日そこをたつてカイサリアに赴き、例の七人の一人である福音宣教者フィリポの家に行き、そこに泊まった。	
S	使徒言行録	21:27 七日の期間が終わろうとしていたとき、アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、	
S	使徒言行録	23:23 千人隊長は百人隊長二人を呼び、「今夜九時カイサリアへ出発できるように、歩兵二百名、騎兵七十名、補助兵二百名を準備せよ」と言った。	
S	使徒言行録	27:37 船にいたわたしたちは、全部で二百七十六人であった。	
S	使徒言行録	28:14 わたしたちはそこで兄弟たちを見つけ、請われるままに七日間滞在した。こうして、わたしたちはローマに着いた。	
S	ローマの信徒への手紙	11:4 しかし、神は彼に何と告げているか。「わたしは、バアルにひざまずかなかった七千人を自分のために残しておいた」と告げておられます。	
S	ヘブライ人への手紙	4:4 なぜなら、ある個所で七日目のことについて、「神は七日目にすべての業を終えて休まれた」と言われているからです。	
S	ヘブライ人への手紙	11:30 信仰によって、エリコの城壁は、人々が周りを七日間回った後、崩れ落ちました。	
S	ユダの手紙	1:14 アダムから数えて七代目に当たるエノクも、彼らについてこう預言しました。「見よ、主は数知れない聖なる者たちを引き連れて来られる。	

タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数 : 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙 : 七]
S ヨハネの黙示録	1:4 -5 ヨハネからアジア州にある七つの教会へ。今おられ、かつておられ、やがて来られる方から、また、玉座の前におられる七つの霊から、更に、証人、誠実な方、死者の中から最初に復活した方、地上の王たちの支配者、イエス・キリストから恵みと平和があなたがたにあるように。わたしたちを愛し、御自分の血によって罪から解放してくださった方に、	
S ヨハネの黙示録	1:11 その声はこう言った。「あなたの見ていることを巻物に書いて、エフェソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルデイス、フィラデルフィア、ラオディキアの七つの教会に送れ。」	
S ヨハネの黙示録	1:12 わたしは、語りかける声の主を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見え、	
S ヨハネの黙示録	1:16 右の手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が出て、顔は強く照り輝く太陽のようであった。	
S ヨハネの黙示録	1:20 あなたは、わたしの右の手に七つの星と、七つの金の燭台とを見たが、それらの秘められた意味はこうだ。七つの星は七つの教会の天使たち、七つの燭台は七つの教会である。	
S ヨハネの黙示録	2:1 エフェソにある教会の天使にこう書き送れ。『右の手に七つの星を持つ方、七つの金の燭台の間を歩く方が、次のように言われる。	
S ヨハネの黙示録	3:1 サルデイスにある教会の天使にこう書き送れ。『神の七つの霊と七つの星とを持っている方が、次のように言われる。「わたしはあなたの行いを知っている。あなたが生きているとは名ばかりで、実は死んでいる。	
S ヨハネの黙示録	4:5 玉座からは、稲妻、さまざまな音、雷が起こった。また、玉座の前には、七つのともし火が燃えていた。これは神の七つの霊である。	
S ヨハネの黙示録	5:1 またわたしは、玉座に座っておられる方の右の手に巻物があるのを見た。表にも裏にも字が書いてあり、七つの封印で封じられていた。	
S ヨハネの黙示録	5:5 すると、長老の一人がわたしに言った。「泣くな。見よ。ユダ族から出た獅子、ダビデのひこばえが勝利を得たので、七つの封印を開いて、その巻物を開くことができる。」	
S ヨハネの黙示録	5:6 わたしはまた、玉座と四つの生き物の間、長老たちの間に、屠られたような小羊が立っているのを見た。小羊には七つの角と七つの目があった。この七つの目は、全地に遣わされている神の七つの霊である。	
S ヨハネの黙示録	6:1 また、わたしが見ていると、小羊が七つの封印の一つを開いた。すると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。	
S ヨハネの黙示録	◆第七の封印が開かれる	
S ヨハネの黙示録	8:1 小羊が第七の封印を開いたとき、天は半時間ほど沈黙に包まれた。	
S ヨハネの黙示録	8:2 そして、わたしは七人の天使が神の御前に立っているのを見た。彼らには七つのラッパが与えられた。	
S ヨハネの黙示録	8:6 さて、七つのラッパを持っている七人の天使たちが、ラッパを吹く用意をした。	
S ヨハネの黙示録	10:3 獅子がほえるような大声で叫んだ。天使が叫んだとき、七つの雷がそれぞれの声で語った。	
S ヨハネの黙示録	10:4 七つの雷が語ったとき、わたしは書き留めようとした。すると、天から声があって、「七つの雷が語ったことは秘めておけ。それを書き留めてはいけぬ」と言うのが聞こえた。	
S ヨハネの黙示録	10:7 第七の天使がラッパを吹くとき、神の秘められた計画が成就する。それは、神が御自分の僕である預言者たちに良い知らせとして告げられたとおりである。」	
S ヨハネの黙示録	11:13 そのとき、大地震が起こり、都の十分の一が倒れ、この地震のために七千人が死に、残った人々は恐れを抱いて天の神の栄光をたたえた。	
S ヨハネの黙示録	◆第七の天使がラッパを吹く	

	タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 606ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250 (七)710個]	43437 (新共同訳) [検索語彙: 七]
S	ヨハネの黙示録	11:15 さて、第七の天使がラツパを吹いた。すると、天にさまざまな大声があつて、こう言った。「この世の国は、我らの主と、／そのメシアのものとなった。主は世々限りなく統治される。」	
S	ヨハネの黙示録	12:3 また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があつて、その頭に七つの冠をかぶっていた。	
S	ヨハネの黙示録	13:1 わたしはまた、一匹の獣が海の中から上つて来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があつた。それらの角には十の王冠があり、頭には神を冒瀆するさまざまな名が記されていた。	
S	ヨハネの黙示録	◆最後の七つの災い	
S	ヨハネの黙示録	15:1 わたしはまた、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た。七人の天使が最後の七つの災いを携えていた。これらの災いで、神の怒りがその極みに達するのである。	
S	ヨハネの黙示録	15:6 そして、この神殿から、七つの災いを携えた七人の天使が出て来た。天使たちは、輝く清い亜麻布の衣を着て、胸に金の帯を締めていた。	
S	ヨハネの黙示録	15:7 そして、四つの生き物の中の一つが、世々限りなく生きておられる神の怒りが盛られた七つの金の鉢を、この七人の天使に渡した。	
S	ヨハネの黙示録	15:8 この神殿は、神の栄光とその力とから立ち上る煙で満たされ、七人の天使の七つの災いが終わるまでは、だれも神殿の中に入ることができなかった。	
S	ヨハネの黙示録	◆神の怒りを盛った七つの鉢	
S	ヨハネの黙示録	16:1 また、わたしは大きな声が神殿から出て、七人の天使にこう言うのを聞いた。「行って、七つの鉢に盛られた神の怒りを地上に注ぎなさい。」	
S	ヨハネの黙示録	16:17 第七の天使が、その鉢の中身を空中に注ぐと、神殿の玉座から大声が聞こえ、「事は成就した」と言った。	
S	ヨハネの黙示録	17:1 さて、七つの鉢を持つ七人の天使の一人が来て、わたしに語りかけた。「ここへ来なさい。多くの水の上に座っている大淫婦に対する裁きを見せよう。」	
S	ヨハネの黙示録	17:3 そして、この天使は“霊”に満たされたわたしを荒れ野に連れて行った。わたしは、赤い獣にまたがっている一人の女を見た。この獣は、全身至るところ神を冒瀆する数々の名で覆われており、七つの頭と十本の角があつた。	
S	ヨハネの黙示録	17:7 すると、天使がわたしにこう言った。「なぜ驚くのか。わたしは、この女の秘められた意味と、女を乗せた獣、七つの頭と十本の角がある獣の秘められた意味とを知らせよう。」	
S	ヨハネの黙示録	17:9 ここに、知恵のある考えが必要である。七つの頭とは、この女が座っている七つの丘のことである。そして、ここに七人の王がいる。	
S	ヨハネの黙示録	17:11 以前いて、今はいない獣は、第八の者で、またそれは先の七人の中の一人なのだが、やがて滅びる。	
S	ヨハネの黙示録	21:9 さて、最後の七つの災いの満ちた七つの鉢を持つ七人の天使がいたが、その中の一人が来て、わたしに語りかけてこう言った。「ここへ来なさい。小羊の妻である花嫁を見せてあげよう。」	
S	ヨハネの黙示録	21:20 第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七はかんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であつた。	